



ライセンス

Cloud Volumes ONTAP

NetApp
February 13, 2026

目次

ライセンス	1
Cloud Volumes ONTAPのライセンス	1
ライセンスの概要	1
容量ベースのライセンス	1
Keystoneサブスクリプション	3
ノードベースのライセンス	4
ライセンス変換	5
Cloud Volumes ONTAPの容量ベースのライセンスの詳細	5
消費モデルまたはライセンス購入オプション	5
ライセンスパッケージの変更	6
サポートされているストレージタイプとパッケージの課金方法	6
容量制限	8
システムの最大数	8
最低料金	8
請求設定と超過料金	9

ライセンス

Cloud Volumes ONTAPのライセンス

Cloud Volumes ONTAPにはいくつかのライセンス オプションがあります。各オプションにより、ニーズに合った消費モデルを選択できます。

ライセンスの概要

新規のお客様には、次のライセンス オプションをご利用いただけます。

容量ベースのライセンス

プロビジョニングされた容量に応じて、NetAppアカウント内の複数のCloud Volumes ONTAPシステムの料金を支払います。アドオンのクラウド データ サービスを購入する機能が含まれます。容量ベースのライセンスの消費モデルや購入オプションの詳細については、以下を参照してください。["容量ベースのライセンスについて詳しく見る"](#)。

Keystoneサブスクリプション

高可用性 (HA) ペアにシームレスなハイブリッド クラウド エクスペリエンスを提供する、成長に合わせて支払うサブスクリプション ベースのサービスです。

次のセクションでは、これらの各オプションについて詳しく説明します。



ライセンスなしでライセンス機能を使用する場合、サポートは提供されません。

容量ベースのライセンス

容量ベースのライセンス パッケージでは、容量 1 TiB ごとにCloud Volumes ONTAP の料金を支払うことができます。ライセンスはNetAppアカウントに関連付けられており、ライセンスを通じて十分な容量が利用できる限り、複数のシステムにライセンスを課金することができます。

たとえば、20 TiB のライセンスを 1 つ購入し、4 つのCloud Volumes ONTAPシステムを導入し、各システムに 5 TiB のボリュームを割り当てて、合計 20 TiB にすることができます。容量は、そのアカウントに導入された各Cloud Volumes ONTAPシステム上のボリュームで利用できます。

容量ベースのライセンスは、パッケージの形式で利用できます。Cloud Volumes ONTAPシステムを導入する場合、ビジネス ニーズに応じて複数のライセンス パッケージから選択できます。



NetApp Consoleで管理される製品とサービスの実際の使用量と計測値は常に GiB と TiB で計算されますが、GB/GiB と TB/TiB という用語は同じ意味で使用されます。これは、クラウド マーケットプレイスのリスト、価格見積、リストの説明、およびその他のサポート ドキュメントに反映されます。

パッケージ

Cloud Volumes ONTAPでは、次の容量ベースのパッケージが利用できます。容量ベースのライセンスパッケージの詳細については、以下を参照してください。["容量ベースのライセンスについて詳しく見る"](#)。

次の容量ベースのパッケージでサポートされている VM タイプの一覧については、以下を参照してください。

- ["Azureでサポートされている構成"](#)
- ["Google Cloud でサポートされている構成"](#)

フリーミアム

NetAppからすべてのCloud Volumes ONTAP機能を無料で提供します (クラウド プロバイダーの料金は引き続き適用されます)。フリーミアム パッケージには次の特徴があります。

- ライセンスや契約は必要ありません。
- NetAppからのサポートは含まれていません。
- Cloud Volumes ONTAPシステムごとにプロビジョニングできる容量は 500 GiB に制限されます。
- どのクラウド プロバイダーでも、NetAppアカウントごとに最大 10 個のCloud Volumes ONTAPシステムを Freemium で使用できます。
- Cloud Volumes ONTAPシステムのプロビジョニングされた容量が 500 GiB を超える場合、コンソールはシステムを Essentials パッケージに変換します。

システムがEssentialsパッケージに変換されるとすぐに、["最低充電"](#)それに適用されます。

Essentials パッケージに変換されたCloud Volumes ONTAPシステムは、プロビジョニングされた容量が 500 GiB 未満に削減された場合でも、Freemium に戻すことはできません。プロビジョニングされた容量が 500 GiB 未満のその他のシステムは、フリーミアムのままとなります (フリーミアム オフオリングを使用して展開されている限り)。

必需品

さまざまな構成で容量に応じてお支払いいただけます。

- Cloud Volumes ONTAP構成を選択します。
 - 単一ノードまたはHAシステム
 - 災害復旧 (DR) 用のファイルおよびブロック ストレージまたはセカンダリ データ
- 追加料金でNetAppのクラウドデータサービスを追加できます

プロ

無制限のバックアップを備えたあらゆるタイプのCloud Volumes ONTAP構成に対して、容量に応じて料金を支払います。

- あらゆるCloud Volumes ONTAP構成のライセンスを提供します

プライマリボリュームとセカンダリボリュームの容量が同じ料金で課金される単一ノードまたは HA

- NetApp Backup and Recoveryを使用した無制限のボリューム バックアップが含まれますが、Professional パッケージを使用するCloud Volumes ONTAPシステムのみが対象です。



バックアップとリカバリには従量課金制 (PAYGO) サブスクリプションが必要ですが、このサービスの使用に対して料金は発生しません。バックアップとリカバリのライセンス設定の詳細については、以下を参照してください。"[バックアップとリカバリのライセンスを設定する](#)"。

- 追加料金でNetAppのクラウドデータサービスを追加できます

容量ベースのライセンスの可用性

Cloud Volumes ONTAPシステムで PAYGO ライセンスと BYOL ライセンスを使用するには、コンソールエージェントが稼働している必要があります。

["コンソールエージェントについて学ぶ"](#)。



はBYOLライセンスの購入、延長、および更新を制限しています。"[Cloud Volumes ONTAPのBYOLライセンスの利用制限](#)"。

始め方

容量ベースのライセンスを開始する方法については、以下をご覧ください。

- "[AWSでCloud Volumes ONTAPのライセンスを設定する](#)"
- "[AzureでCloud Volumes ONTAPのライセンスを設定する](#)"
- "[Google Cloud でCloud Volumes ONTAPのライセンスを設定する](#)"

Keystoneサブスクリプション

成長に合わせて支払うサブスクリプションベースのサービスで、先行の CapEx やリースよりも OpEx 消費モデルを好むユーザーにシームレスなハイブリッド クラウド エクスペリエンスを提供します。

料金は、Keystoneサブスクリプション内の1つ以上のCloud Volumes ONTAP HA ペアのコミット容量のサイズに基づいて計算されます。

各ボリュームのプロビジョニングされた容量は定期的に集計され、Keystoneサブスクリプションのコミットされた容量と比較され、超過分はKeystoneサブスクリプションのバーストとして課金されます。

["NetApp Keystoneの詳細はこちら"](#)。

サポートされている構成

Keystoneサブスクリプションは HA ペアでサポートされます。現時点では、このライセンス オプションは単一ノード システムではサポートされていません。

容量制限

容量ベースのライセンス モデルでは、各Cloud Volumes ONTAPシステムはオブジェクト ストレージへの階層化をサポートし、階層化された合計容量はクラウド プロバイダーのバケット制限まで拡張できます。ライセンスには容量制限はありませんが、"[『FabricPoolのベストプラクティス』](#)"階層化を構成および管理する際に最適なパフォーマンス、信頼性、コスト効率を確保します。

各クラウド プロバイダーの容量制限については、各プロバイダーのドキュメントを参照してください。

- ["AWSのドキュメント"](#)
- ["マネージド ディスクに関する Azure ドキュメント"](#)そして ["BLOB ストレージに関する Azure ドキュメント"](#)
- ["Google Cloud ドキュメント"](#)

始め方

Keystoneサブスクリプションの開始方法については、以下をご覧ください。

- ["AWSでCloud Volumes ONTAPのライセンスを設定する"](#)
- ["AzureでCloud Volumes ONTAPのライセンスを設定する"](#)
- ["Google Cloud でCloud Volumes ONTAPのライセンスを設定する"](#)

ノードベースのライセンス

ノードベースのライセンスは、ノードごとにCloud Volumes ONTAP のライセンスを取得できる前世代のライセンス モデルです。このライセンス モデルは新規顧客にはご利用いただけません。ノード単位の課金は、上記の容量単位の課金方法に置き換えられました。

NetApp は、ノードベースのライセンスの提供終了 (EOA) とサポート終了 (EOS) を計画しています。EOA および EOS の後は、ノードベースのライセンスを容量ベースのライセンスに変換する必要があります。

詳細については、["顧客通信: CPC-00589"](#)。

ノードベースライセンスの提供終了

2024 年 11 月 11 日以降、ノードベースのライセンスの限定的な提供は終了しました。ノードベースのライセンスのサポートは、2024 年 12 月 31 日に終了します。

EOA 日付を超えて有効なノードベースの契約がある場合は、契約の有効期限が切れるまでライセンスを引き続き使用できます。契約期間が終了すると、容量ベースのライセンス モデルに移行する必要があります。Cloud Volumes ONTAPノードの長期契約がない場合は、EOS 日付までに変換を計画することが重要です。

各ライセンスの種類と EOA の影響について詳しくは、次の表をご覧ください。

ライセンス タイプ	EOA後の影響
BYOL（個人ライセンス持ち込み）を通じて購入した有効なノードベースのライセンス	ライセンスは有効期限まで有効です。既存の未使用のノードベースのライセンスは、新しいCloud Volumes ONTAPシステムの展開に使用できます。
BYOL を通じて購入したノードベースのライセンスの期限切れ	このライセンスを使用して新しいCloud Volumes ONTAPシステムを展開する権利はありません。既存のシステムは引き続き動作する可能性があります。EOS 日以降はシステムに対するサポートやアップデートは受けられなくなります。

ライセンス タイプ	EOA後の影響
PAYGOサブスクリプション付きの有効なノードベースのライセンス	EOS 日以降は、容量ベースのライセンスに移行するまで、NetApp のサポートを受けられなくなります。

除外事項

NetApp は、特定の状況では特別な考慮が必要であることを認識しており、ノードベースのライセンスの EOA と EOS は次の場合には適用されません。

- 米国公共部門の顧客
- プライベートモードでのデプロイメント
- AWS における Cloud Volumes ONTAP の中国リージョン展開

これらの特定のシナリオでは、NetApp は契約上の義務と運用上のニーズに準拠した固有のライセンス要件に対処するためのサポートを提供します。



このようなシナリオの場合でも、新しいノードベースのライセンスとライセンスの更新は、承認日から最大 1 年間有効です。

ライセンス変換

コンソールでは、ライセンス変換ツールを使用して、ノードベースのライセンスを容量ベースのライセンスにシームレスに変換できます。ノードベースライセンスのEOAについては、以下を参照してください。"[ノードベースライセンスの提供終了](#)"。

移行する前に、2つのライセンスモデルの違いを理解しておくことをお勧めします。ノードベースのライセンスには各ONTAPインスタンスの固定容量が含まれるため、柔軟性が制限される可能性があります。一方、容量ベースのライセンスでは、複数のインスタンス間でストレージの共有プールが可能になり、柔軟性が向上し、リソース使用率が最適化され、ワークロードを再配分する際の金銭的なペナルティの可能性が軽減されます。容量ベースの課金により、変化するストレージ要件にシームレスに適応します。

この変換を実行する方法については、"[Cloud Volumes ONTAP ノードベースのライセンスを容量ベースのライセンスに変換する](#)"。



システムを容量ベースからノードベースのライセンスに変換することはサポートされていません。

Cloud Volumes ONTAPの容量ベースのライセンスの詳細

容量ベースのライセンスの課金と容量の使用法について理解しておく必要があります。

消費モデルまたはライセンス購入オプション

容量ベースのライセンス パッケージは、次の消費モデルまたは購入オプションで利用できます。

- **BYOL:** 自分のライセンスを持ち込みます (BYOL)。NetAppから購入したライセンスで、任意のクラウドプロバイダーにCloud Volumes ONTAP を展開するために使用できます。



はBYOLライセンスの購入、延長、および更新を制限しています。 "[Cloud Volumes ONTAP の BYOL ライセンスの利用制限](#)"。

- **PAYGO:** 従量課金制 (PAYGO) サブスクリプションは、クラウド プロバイダーのマーケットプレイスからの時間単位のサブスクリプションです。
- 年間: クラウド プロバイダーのマーケットプレイスからの年間契約。

次の点に注意してください。

- NetApp (BYOL) からライセンスを購入する場合は、クラウドプロバイダーのマーケットプレイスからPAYGOプランに加入する必要があります。NetAppはBYOLライセンスに制限を設けています。BYOLライセンスの有効期限が切れた場合は、クラウドマーケットプレイスのサブスクリプションに切り替えていただく必要があります。

ライセンスは常に最初に課金されますが、以下の場合にはマーケットプレイスの時間単位料金で課金されます。

- ライセンス容量を超えた場合
- ライセンスの有効期限が切れた場合
- マーケットプレイスから年間契約を結んでいる場合、導入するすべてのCloud Volumes ONTAPシステムに対してその契約料金が課金されます。年間マーケットプレイス契約と BYOL を組み合わせることはできません。
- 中国リージョンでは、BYOLを使用した単一ノードシステムのみがサポートされます。中国リージョンの導入はBYOLライセンスの制限の対象外です。

ライセンスパッケージの変更

展開後に、容量ベースのライセンスを使用するCloud Volumes ONTAPシステムのパッケージを変更できます。たとえば、Essentials パッケージを使用してCloud Volumes ONTAPシステムを導入した場合、ビジネスニーズの変化に応じて Professional パッケージに変更できます。

"[充電方法の変更方法を学ぶ](#)"。

ノードベースのライセンスを容量ベースのライセンスに変換する方法については、[以下を参照してください](#)。

サポートされているストレージタイプとパッケージの課金方法

Cloud Volumes ONTAPでの課金は、パッケージやボリューム タイプなど、さまざまな要素に基づいて行われます。容量ベースのライセンス パッケージは、Cloud Volumes ONTAP 9.7 以降で利用できます。

価格の詳細については、"[NetApp Consoleのウェブサイト](#)"。

Storage VM

- 追加のデータ サービス ストレージ VM (SVM) には追加のライセンス コストは発生しませんが、データ サービス SVM ごとに 4 TiB の最小容量料金が発生します。
- ディザスタリカバリ SVM は、プロビジョニングされた容量に応じて課金されます。

HAペア

HA ペアの場合、ノードにプロビジョニングされた容量に対してのみ課金されます。パートナー ノードに同期的にミラーリングされるデータに対しては料金は発生しません。

FlexCloneおよびFlexCacheボリューム

- FlexCloneボリュームで使用される容量に対しては料金は発生しません。
- ソースおよび宛先のFlexCacheボリュームはプライマリ データと見なされ、プロビジョニングされたスペースに応じて課金されます。

読み取り/書き込みボリューム

書き込み可能 (読み取り/書き込み) ボリュームを作成または使用する場合、そのボリュームはプライマリ ボリュームとみなされ、ストレージ VM (SVM) あたりの最小料金に基づいてプロビジョニングされた容量に対して課金されます。例としては、FlexVol読み取り/書き込みボリューム、SnapLock監査ボリューム、CIFS/NFS 監査ボリュームなどがあります。ユーザーが作成したすべてのデータ ボリュームは、サブスクリプションとパッケージ タイプごとに課金されます。SVM ルート ボリュームなど、自動的に作成され、データを保存できないONTAP内部ボリュームは課金されません。

エッセンシャルパッケージ

Essentials パッケージでは、デプロイメント タイプ (HA または単一ノード) とボリューム タイプ (プライマリ またはセカンダリ) に基づいて課金されます。価格は、高いものから低いものの順に、*Essentials Primary HA*、*Essentials Primary Single Node*、*Essentials Secondary HA*、*Essentials Secondary Single Node* となります。あるいは、マーケットプレイス契約を購入するか、プライベート オファーを受け入れる場合、容量料金はどのデプロイメントまたはボリューム タイプでも同じになります。

ライセンスは、Cloud Volumes ONTAPシステム内で作成されたボリューム タイプに基づいて決定されます。

- Essentials シングルノード: 1 つのONTAPノードのみを使用して、Cloud Volumes ONTAPシステムで作成されたボリュームの読み取り/書き込み。
- Essentials HA: 相互にフェイルオーバーして中断のないデータ アクセスを実現できる 2 つのONTAPノードを使用してボリュームの読み取り/書き込みを行います。
- Essentials セカンダリ シングル ノード: 1 つのONTAPノードのみを使用してCloud Volumes ONTAPシステム上に作成されたデータ保護 (DP) タイプのボリューム (通常は読み取り専用のSnapMirrorまたはSnapVault宛先ボリューム)。



読み取り専用/DP ボリュームがプライマリ ボリュームになった場合、コンソールはそれをプライマリ データと見なし、ボリュームが読み取り/書き込みモードであった時間に基づいて課金コストを計算します。ボリュームが再び読み取り専用/DP になると、ボリュームは再びセカンダリ データとして扱われ、コンソール内の最適なライセンスを使用してそれに応じて課金されます。

- Essentials セカンダリ HA: 中断のないデータ アクセスのために相互にフェイルオーバーできる 2 つのONTAPSnapMirrorを使用してCloud Volumes ONTAPシステム上に作成されたデータ保護 (DP) タイプのボリューム (通常はSnapVault専用の SnapMirror または SnapVault 宛先ボリューム)。

容量制限

容量ベースのライセンス モデルでは、各Cloud Volumes ONTAPシステムはオブジェクト ストレージへの階層化をサポートし、階層化された合計容量はクラウド プロバイダーのバケット制限まで拡張できます。ライセンスには容量制限はありませんが、"[『FabricPoolのベストプラクティス』](#)"階層化を構成および管理する際に最適なパフォーマンス、信頼性、コスト効率を確保します。

各クラウド プロバイダーの容量制限については、各プロバイダーのドキュメントを参照してください。

- "[AWSのドキュメント](#)"
- "[マネージド ディスクに関する Azure ドキュメント](#)"そして "[BLOB ストレージに関する Azure ドキュメント](#)"
- "[Google Cloud ドキュメント](#)"

システムの最大数

容量ベースのライセンスでは、Cloud Volumes ONTAPシステムの最大数は、NetApp Console組織あたり24に制限されています。_システム_とは、Cloud Volumes ONTAP HAペア、Cloud Volumes ONTAP単一ノードシステム、または作成した追加のストレージVMのことです。デフォルトのストレージVMは制限にカウントされません。この制限はすべてのライセンスモデルに適用されます。

たとえば、次の3つのシステムがあるとします。

- 1つのストレージ VM を備えた単一ノードのCloud Volumes ONTAPシステム (これは、Cloud Volumes ONTAPを展開するときに作成されるデフォルトのストレージ VM です)

このシステムは1つのシステムとしてカウントされます。

- 2つのストレージ VM (デフォルトのストレージ VM と、作成した追加のストレージ VM 1つ) を備えた単一ノードのCloud Volumes ONTAPシステム

このシステムは、シングルノード システム用と追加のストレージ VM 用の2つのシステムとしてカウントされます。

- 3つのストレージ VM (デフォルトのストレージ VM と、作成した2つの追加ストレージ VM) を備えたCloud Volumes ONTAP HA ペア

このシステムは、HA ペア用に1つ、追加のストレージ VM 用に2つ、合わせて3つのシステムとしてカウントされます。

合計で6つのシステムになります。すると、組織内にさらに14個のシステムを追加できる余裕が生まれます。

24台を超えるシステムが必要な大規模な展開の場合は、アカウント担当者または営業チームにお問い合わせください。

["AWS、Azure、Google Cloud のストレージ制限について学ぶ"](#)。

最低料金

少なくとも1つのプライマリ (読み取り/書き込み) ボリュームを持つデータ サービス ストレージ VM ごと

に、4 TiB の最小料金がかかります。プライマリ ボリュームの合計が 4 TiB 未満の場合、コンソールはそのストレージ VM に 4 TiB の最小料金を適用します。

まだボリュームをプロビジョニングしていない場合は、最低料金は適用されません。

Essentials パッケージの場合、4 TiB の最小容量料金は、セカンダリ (データ保護) ボリュームのみを含むストレージ VM には適用されません。たとえば、1 TiB のセカンダリ データを持つストレージ VM がある場合、その 1 TiB のデータに対してのみ課金されます。プロフェッショナル パッケージ タイプでは、ボリューム タイプに関係なく、4 TiB の最小容量課金が適用されます。

請求設定と超過料金

コンソールの [*Licenses and subscriptions ション*](#) セクションで課金方法を選択できます。超過は、ライセンス パッケージまたは年間サブスクリプションで指定された容量を超える使用量が発生したときに発生します。

- *** NetApp ライセンスを最初に取得***: このモデルでは、まずライセンス パッケージ (BYOL) の容量に対して使用量が課金されます。ライセンス容量を超過した場合、年間マーケットプレイス サブスクリプションまたはマーケットプレイスのオンデマンド時間料金 (PAYGO) に基づいて超過料金が請求されます。BYOL ライセンスの有効期限が切れた場合は、クラウド マーケットプレイスを通じて容量ベースのライセンスモデルに移行する必要があります。詳細については、["Cloud Volumes ONTAP ノードベースのライセンスを容量ベースのライセンスに変換する"](#)。
- **マーケットプレイス サブスクリプションのみ**: このモデルでは、使用量はまず年間マーケットプレイス サブスクリプションに対して課金されます。追加の使用量については、マーケットプレイスのオンデマンド時間料金 (PAYGO) で課金されます。未使用のライセンス容量は課金対象から除外されます。

請求設定の詳細については、以下を参照してください。 ["ライセンスとサブスクリプションの課金設定について"](#)。

Essentials ライセンスの超過料金の請求方法

NetApp から Essentials ライセンスを購入し (BYOL)、特定の Essentials パッケージのライセンス容量を超えた場合、コンソールはより高価な Essentials ライセンス (使用可能な容量がある場合) に対して超過分を請求します。コンソールは、マーケットプレイスに対して請求する前に、まず支払った利用可能な容量を使用します。BYOL ライセンスで利用可能な容量がない場合、超過した容量はマーケットプレイスのオンデマンド時間料金 (PAYGO) で課金され、毎月の請求額に加算されます。

同様に、年間マーケットプレイス契約または複数の Essentials パッケージを含むプライベート オファーがあり、使用量が特定のパッケージのデプロイメントとボリューム タイプに対してコミットされた容量を超える場合、コンソールは利用可能な容量に基づいて、より高価な Essentials パッケージに対して超過分を請求します。容量が使い果たされると、残りの超過分はマーケットプレイス オンデマンド (PAYGO) の時間単位料金で課金され、毎月の請求額に加算されます。

Essentials ライセンスの課金については、以下を参照してください。 ["エッセンシャルパッケージ"](#)。

ここに例があります。Essentials パッケージの次のライセンスがあるとします。

- 500 TiB のコミット容量を持つ 500 TiB の *Essentials Secondary HA* ライセンス
- コミットされた容量が 100 TiB のみである 500 TiB の *_Essentials Single Node_* ライセンス

セカンダリ ボリュームを持つ HA ペアにさらに 50 TiB がプロビジョニングされます。コンソールは、その 50 TiB を PAYGO に請求する代わりに、*Essentials Single Node* ライセンスに対して 50 TiB の超過分を請求しま

す。このライセンスの価格は *Essentials Secondary HA* よりも高額ですが、すでに購入済みのライセンスを使用するため、毎月の請求額に追加費用はかかりません。

*管理 >Licenses and subscriptions*で、*Essentials Single Node* ライセンスに対して 50 TiB が課金されていることを確認できます。

もう一つの例を挙げます。Essentials パッケージの次のライセンスがあるとします。

- 500 TiB のコミット容量を持つ 500 TiB の *Essentials Secondary HA* ライセンス
- コミットされた容量が100 TiBのみである500 TiBの_*Essentials Single Node*_ライセンス

プライマリ ボリュームを持つ HA ペアにさらに 100 TiB がプロビジョニングされます。購入したライセンスには、*Essentials Primary HA* コミット容量がありません。*Essentials Primary HA* ライセンスの価格は、*Essentials Primary Single Node* ライセンスと *Essentials Secondary HA* ライセンスの両方よりも高くなります。

この例では、コンソールは追加の 100 TiB に対してマーケットプレイス レートで超過料金を請求します。超過料金は毎月の請求書に表示されます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。